

令和7年度 日本コンクリート工学会北海道支部功績賞

受賞者の選考結果

選考経過

日本コンクリート工学会北海道支部功績賞規定に基づいて、令和8年1月20日に候補者の推薦を締め切った結果、1名の推薦があった。これを受け日本コンクリート工学会北海道支部功績賞選考委員会において慎重に選考を行い、令和8年3月10日開催の委員会にて、被推薦者1名を受賞候補者として推薦することを決定した。さらに、令和8年4月17日開催の執行委員会における審議の結果、当該候補者の受賞が承認された。以下に、受賞者氏名および受賞理由を記す。

功績賞受賞者

吉野 伸一 (76歳)

現職：ジェイアール北海道エンジニアリング 株式会社 技術顧問

1971年3月 日本国有鉄道 中央鉄道学園大学課程土木科 卒業

受賞者は、1971年に日本国有鉄道中央鉄道学園大学課程土木科を卒業後、日本国有鉄道に入社した。国鉄分割民営化後は北海道旅客鉄道において、工事課長、工務技術センター所長、工務部長などを歴任し、北海道における鉄道インフラの整備・維持管理や技術開発に携わっている。2007年より北海道ジェイアール・コンサルタンツの専務取締役、代表取締役社長等を務め、2019年には北海道旅客鉄道新幹線工事部技術顧問およびジェイアール北海道エンジニアリング技術顧問として、長年にわたり北海道における鉄道技術の発展に寄与している。また日本コンクリート工学会の北海道支部での活動として、1993年度から2024年度まで支部執行委員を務めるとともに、コンクリート構造物の補強・補修、ひび割れ対策、混和材料などに関する各種研究委員会に参画してきた。さらにコンクリート工学年次大会（札幌）の実行委員会（2001年・2009年・2019年）や支部設立記念事業（10周年・20周年・30周年）の実行委員会等に携わり、支部活動の発展に大いに貢献した。加えて、これまでの研究・技術開発の成果により、日本鉄道施設協会協会賞（論文賞）（1985年）、プレストレストコンクリート技術協会賞（論文部門）（1985年）、日本鉄道施設協会技術賞（1996年）、同論文賞（2003年）など、多くの学協会賞を受賞しており、鉄道構造物の分野において高い評価を受けている。

以上より、受賞者は北海道におけるコンクリート工学の発展に大きく貢献した。

日本コンクリート工学会北海道支部功績賞選考委員会

委員長 高瀬 裕也 室蘭工業大学大学院

委員 井上 雅弘 株式会社長大

委員 今村 晃久 株式会社開発工営社

委員 定木 紳 清水建設株式会社

委員 谷口 円 室蘭工業大学大学院

委員 渡辺 暁央 苫小牧工業高等専門学校